

こっこめ通信 06 2014

「歩くのはイヤですか」号



八丈島ではアカコッコのことを親しみを込めて「こっこめ」とよびます。

先日、「夏にはエルニーニョ現象が発生する可能性が高くなっている」と気象庁から長期予報の発表がありました。エルニーニョが発生した場合、太平洋高気圧の張り出しが弱く、偏西風が南寄りになる可能性が高くなります。そうすると気温が上がらず、雨が多くなるといわれています。さらには台風の動き方も平年通りには行かなくなりそうです。この夏は今まで以上に防災対策をしっかりとしないといけませんね。

さて、今回は『八丈植物公園のみどころ』情報「毛虫・芋虫・尺取り虫」についてのお話です。

「八丈植物公園のみどころ」情報

ビジターセンター入ってすぐの場所に「植物公園の旬のみどころ」という情報板を掲示していましたが、園内の地図も古く小さかったので、この度この情報板をリニューアルいたしました(①)。園内の地図は分かりやすいようにパンフレットと同じものを使用しています。そして、掲載している写真は八丈植物公園のホームページの「園内の情報」をそのまま紹介するようにしました。掲示した写真(②)の右上には、ホームページのQRコードを貼り付け、スマートフォンやタブレットなどから詳しい情報と場所が簡単に読み込めるようになっています。スマホなどに表示された地図(③)を確認しながら園内を歩くこともできます。また、毎月発行している園内散策のためのセルフガイド「自然観察のすすめ(④)」で紹介している植物の情報も掲示しています。日が経つにつれ、咲いている場所も変わるため、旬の情報を提供できるようになりました。さらに、これから情報量が多くなれば、過去の情報も掲示していきたいと考えています。御意見・ご感想があれば、是非お聞かせください！！

① 八丈植物公園のみどころ

② テイカズラ

2014年5月26日

③

④

植物公園のホームページ上では園内の詳細な地図が表示されます。残念ながら、スマホ内のGPSによる現在位置とはリンクされていません。

「自然観察のすすめ」は園内を30分前後で回れるコースを考え、その時期に咲いている4種類の植物を紹介しています。温室の情報や季節のトピックなど情報盛りだくさん！館内で配布しています！

「アカコッコ」は日本固有のツグミ科の鳥で、国の天然記念物に指定されています。八丈島では一年を通して見られ、町の鳥にも選定されています。

毛虫・芋虫・尺取り虫

この時期、公園内の草や木々にはたくさんの虫が付いています。今年は特に大発生！歩いていると糸にぶら下がった虫たちがお出迎え？をしてくれます。さらに耳を澄ませば、「ポトツ、ポトツ」とかすかに聞こえる音。これは虫たちが木の上で葉っぱを食べ、うんちを落としている音です。大量に発生していますが、公園ということもあり、葉は撒きません。1匹1匹捕まえるか、厳しい自然環境の中で数を減らされるか、鳥たちに頑張って食べてもらうしかありません。

特に大発生しているのは毛虫代表の「**マイマイガ**」。大好物なアカメガシワは葉っぱが無くなってしまった木もたくさんあります。食べる葉が少なくなると糸を垂らし、他の木に移動します（さらに歩くのもとても早い！）。そしてホルトノキ、タブノキ、スダジイだけではなくビロウヤシヤストレチアまでも食べています。ビジターセンター裏のストレチアは花まで食べられています。冬の卵の時に駆除を試みましたが、園内にはそれ以上に卵が産み付けられていたようです。

毎年発生数が多かった「**クワゴマダラヒトリ**」はマイマイガの勢いに押されているのか、とても少なくなっています。園内では卵の時に駆除をしているのが功を奏したのかもしれませんが。

毒のある「**チャドクガ**」は小さい時は集団でいるため見つけやすいです。飛んできた毛が付着しただけでもかぶれてしまう毒があり、公園内で見つければ必ず駆除しています。今年は5月中旬から、食草であるヤブツバキの葉の上で見られるようになってきました。

尺取り虫の代表は「**ハスオビエダシャク**」。公園内にもたくさんいますが葉に隠れてあまり目立ちません。マイマイガ同様、糸を垂らしてぶら下がります。坂上地区ではスダジイの木からぶら下がっている幼虫がたくさんいます。数年前に大発生した時は、簾のように垂れ下がっていましたが、今年はそこまでは多くありません。

耳のような突起のある「**トビモンオオエダシャク**」は数年前に島内で大発生した後は少し落ち着き、園内でもそれほど多くはありません。

イモムシ系は春先に多かったのですが、鳥が子育ての時期に入ってからたくさん食べてくれたのか？蛹になったのか？5月には少なくなってきました。「**ミツボシキリガ**」はエノキに、「**アケビコノハ**」はミツバアケビに付いていました。「**オオシマカラスヨトウ**」はいろいろな葉を食べるようですが、今回見つけたのはホウライカズラでした。

スミレを食べる「**ツマグロヒョウモン**」、イラクサ科を食べる「**アカタデハ**」は、ガではなくチョウ。毛ではない棘状の突起があります。ツマグロヒョウモンは、そろそろ蛹化の準備に入り始めました。

そろそろ幼虫の時期も終わりに近づいてきました。やっとこれで安心して、公園内も歩けるようになりそうです。



八丈植物公園季節調査会の報告

八丈ビジターセンターでは、毎月第二日曜日に、植物公園の生きものから季節を感じようという趣旨で、「八丈植物公園季節調査会」を開催しています。毎回見られる植物がどのように変化していくか、また、どんな鳥や虫が見られるかも観察しています。今回は5月11日に行いました。

八丈植物公園季節調査（平成26年第5回）参加者・沖山、黒田、矢野、菊池昭、VC 菊池

NO.	和名（島名）	状態	NO.	和名（島名）	状態	NO.	和名（島名）	状態
草本			37	ニラバラシ	花	18	ヤブニッケイ	花
1	アオスゲ	実	38	ニワゼキショウ	花と実	19	ヤマモモ	若い実
2	アオノクマタケラン	蕾	39	ヌカススキ	実	シダ植物		
3	アシタバ	花	40	ヌカボ	花	1	イシカグマ	
4	イワニガナ	花	41	ハタケニラ	実	2	ウチワゴケ	乾燥で閉じている
5	ウスベニチチコグサ	花	42	ハナヌカススキ	花	3	オオイタチシダ	
6	ウスベニニガナ	花	43	ハハコグサ	花	4	オオタニワタリ	新葉が目立つ
7	ウラジロチチコグサ	蕾	44	ハルジオン	花	5	オニヤブソテツ	
8	オオシマカンスゲ	実	45	ヒナギキョウ	花	6	カニクサ	
9	オオニワゼキショウ	花と実	46	ヒノキバヤドリギ	実	7	コハシゴシダ	増えてきた
10	オニタビラコ	花	47	ヒメコバンソウ	実	8	タチクラマゴケ	胞子葉
11	オヤブジラミ	実	48	ヒメジョオン	蕾	9	タチシノブ	
12	オランダミミナグサ	実	49	ヒメヨツバムグラ	花と実	10	タマシダ	
13	カタバミ	花と実	50	フウトウカズラ	花	11	ナチシケシダ	
14	カニツリグサ	花	51	マツバウンラン	花と実	12	ノキシノブ	
15	カモジグサ	花	52	ムラサキカタバミ	花	13	ハカタシダ	
16	カラスノエンドウ	実	53	ヤエムグラ	花と実	14	ハチジョウカナワラビ	
17	ギシギシ	実	54	ヤマヌカボ	実	15	ハチジョウシダ	
18	キランソウ	花	木本			16	ハチジョウベニシダ	
19	コケミズ	花	1	アオキ	若い実	17	ヒトツバ	獅子葉の個体
20	コケリンドウ	花	2	イタビカズラ	実	18	ホシダ	
21	コナスビ	花	3	イヌビワ	実	19	マツバラシ	
22	コマツヨイグサ	花と実	4	オオシマザクラ	実	20	マメツタ	
23	コメツブツメクサ	花	5	オオバヤシャブシ	実	21	ミゾシダ	
24	コモチマンネングサ	花	6	ガクアジサイ	咲き始め	22	ヤマイタチシダ	
25	シチトウスミレ	実	7	シマモクセイ	実、今年は多い	今回はシダ植物22種を含む95種の植物を観察しました。昆虫では最近八丈島で増えているクロカタビロオサムシを公園内で初めて確認し、マイマイガの幼虫やキバラケンモンの終齢幼虫も目立ちました。		
26	シロバナマンテマ	花と実	8	センダン	花			
27	スズメノエンドウ	実	9	テイカカズラ	蕾			
28	セイヨウタンポポ	花	10	トベラ	若い実			
29	タチイヌノフグリ	花と実	11	ハゼノキ	蕾			
30	チガヤ	花	12	ハチジョウイボタ	蕾			
31	チチコグサ	実	13	ハチジョウキブシ	実			
32	ツメクサ	花	14	ヒサカキ	若い実			
33	トウバナ	花と実	15	ヒメユズリハ	花			
34	トキワツユクサ	花	16	モチノキ	実			
35	トキワハゼ	花	17	ヤナギイチゴ	実			
36	ドクダミ	蕾						

八丈島では、内地と少し様変わりした種や独自に進化した種など、聞き慣れない種があるのが特徴です。今回は、公園内でも見られる「クロカタビロオサムシ」にスポットを当ててみたいと思います。



クロカタビロオサムシ *Calosoma maximowiczii*

オサムシ科の昆虫。北海道、本州、四国、九州に分布しています。

大きさは22～31mm、黒く光沢があります。八丈島では数年前から目撃されるようになってきました。オサムシの仲間は飛べないものが多いですがこのクロカタビロオサムシは飛ぶことができます。毛虫・芋虫・尺取り虫を食べ、園内ではマイマイガも捕食していました。

2014 八丈ビジターセンター 6 プログラムカレンダー

日付の下に書かれている時刻は、八丈島（神湊）の潮の満ち引きの時刻です。
左側が満潮時刻、右側が干潮時刻です。また日付の横は月の満ち欠けです。

日	月	火	水	木	金	土
1 ガイドウォーク 06:12 00:42 19:58 13:01	2 06:46 01:17 20:32 13:36	3 07:22 01:56 21:09 14:13	4 08:04 02:43 21:50 14:54	5 09:00 03:43 22:38 15:40	● 芒種 6 10:24 05:02 23:33 16:38	7 ガイドウォーク 06:25 12:17 17:50
8 ガイドウォーク 植物公園季節調査会 00:30 07:30 13:51 19:05	9 01:22 08:20 14:59 20:12	10 02:08 09:03 15:52 21:09	11 02:50 09:44 16:40 21:58	12 03:32 10:25 17:26 22:43	○ 13 04:13 11:07 18:10 23:27	14 ガイドウォーク 04:55 11:49 18:54
15 ガイドウォーク 05:39 00:10 19:38 12:33	16 06:25 00:55 20:21 13:17	17 07:14 01:44 21:03 14:02	18 08:09 02:38 21:46 14:49	19 09:14 03:41 22:32 15:38	● 20 10:41 04:54 23:21 16:34	夏至 21 ガイドウォーク 06:12 12:31 17:42
22 ガイドウォーク 00:16 07:22 14:14 19:03	23 01:12 08:21 15:26 20:19	24 02:05 09:08 16:17 21:20	25 02:52 09:50 16:57 22:07	26 03:35 10:27 17:32 22:47	● 27 04:14 11:03 18:03 23:22	28 ガイドウォーク 八文学講座 「海浜植物観察会」 04:51 11:37 18:33 23:54
29 ガイドウォーク 05:26 12:10 19:02	30 06:01 00:26 19:30 12:43			この色の日は 特別行事があります		

イベントプログラム

植物公園季節調査会

植物公園内で動植物の調査をしながら季節の変化を一緒に感じましょう！
6/8 (13:30～ 約1時間半) 中学生以上
ビジターセンター集合・解散 参加費：無料 定員：15名

八文学講座 「海浜植物観察会」

毎月行っている八文学講座。底土海岸で海岸ならではの植物の観察会を行います。
6/28 (13:30～ 約1時間半) 中学生以上
底土海水浴場駐車場集合・解散 参加費：50円 定員：15名

ビデオプログラム

10:00～ 八丈・海・生きものたち

11:00～ おじゃりやれ 八丈島

14:00～ おじゃりやれ 八丈島

15:00～ おじゃりやれ 八丈島

16:00～ 八丈・海・生きものたち

上記以外での上映は予約にて可能です

東京都八丈ビジターセンター 2014.6.1 第157号

開館時間 9:00～16:45 年中無休（入場無料）

〒100-1401

東京都八丈島八丈町大賀郷2843

電話：04996-2-4811 Fax：04996-2-4888

編集後記

この春は「毛虫がぶら下がってるから公園には行かない（行けない）」という声を何度も聞きました。虫たちも必死に生きていますが、公園管理としてはサナギになったものをできるだけ駆除しようと考えています。多すぎず少なすぎずになってほしいものです。（高）